

# 9月20日の豊後水道の地震について

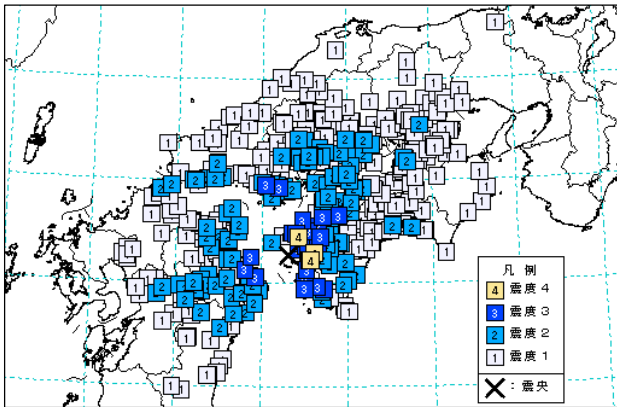


図1 観測点震度分布図 (×は震央)

2024年9月20日21時22分、豊後水道の地震（深さ41km、M4.7）により、愛媛県宇和島市・八幡浜市で震度4を観測したほか、近畿地方から九州地方にかけて震度3～1を観測しました（図1）。この地震は、フィリピン海プレート内部で発生しました。発震機構（CMT解）は東西方向に張力軸を持つ正断層型でした（図2・3）。

この地震の震源付近（図3の領域b）では、4月17日のM6.6の地震（最大震度6弱）の発生後、地震活動が活発となりました。その後、地震活動は次第に減衰してきているものの継続しています（図2・3・4）。

1997年10月以降の活動をみると、今回の地震の震源付近（図3の領域b）では、M4.0以上の地震が時々発生しています（図4）。

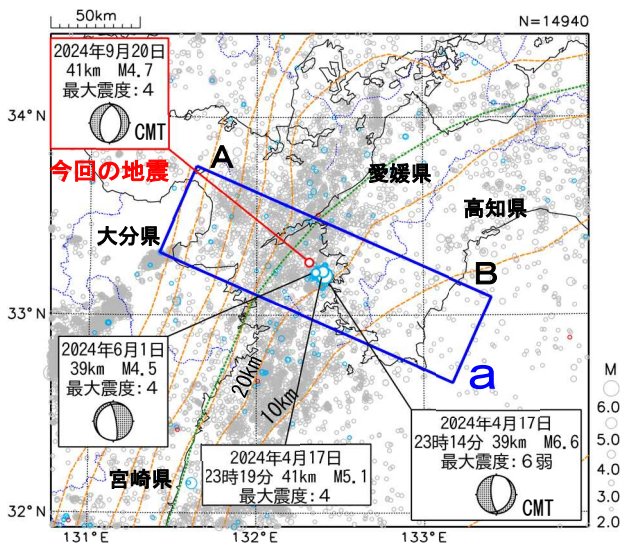


図2 震央分布図

(1997年10月1日～2024年9月24日、深さ0～100km、 $M \geq 2.0$ )  
 2024年4月17日～9月19日の地震を水色で表示  
 2024年9月20日～24日の地震を赤色で表示  
 それ以外の期間の地震を灰色で表示  
 緑色の破線は南海トラフ巨大地震の想定震源域

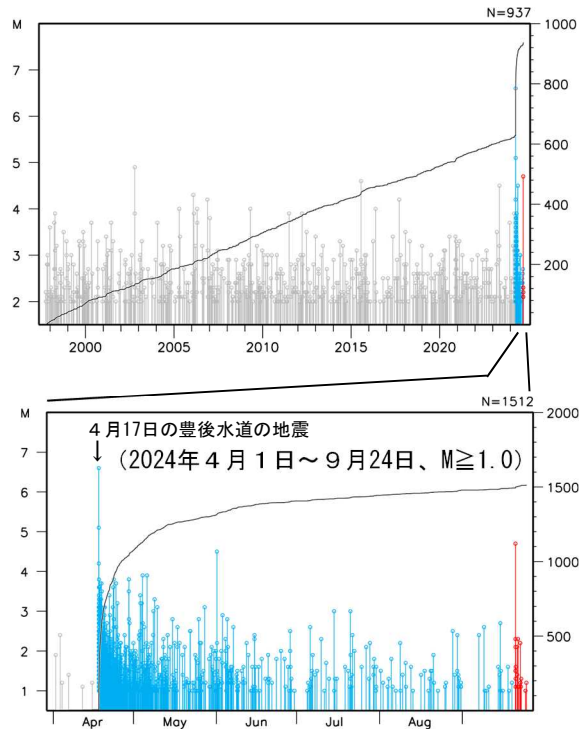


図4 領域b内のM-T図及び回数積算図

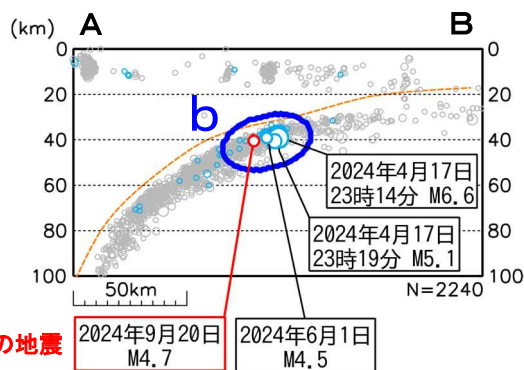


図3 領域a内の断面図 (A-B投影)

図2及び図3の橙色の破線は、Baba et al. (2002)、Hirose et al. (2008)、Nakajima and Hasegawa (2007) によるフィリピン海プレート上面のおおよその深さ

※本資料は2024年9月24日までの震源データを利用して作成しています。  
 ※これらの震源データは暫定震源を含んでおり、再調査された後に修正されることがあります。